

新米パパ頑張った！育児とフィールドワークの両立

自然・環境再生研究部 生物資源研究グループ

中 濱 直 之



生態学の研究者にはフィールドワークがつきものですが、育児をしていると両立はなかなか大変です。子供が1歳で保育園に通い始めたころに兵庫県香美町の但馬牛調査を実施していたのですが、子供の保育園への送迎を考えるととても宿泊はできません。なので、その日は（子供の急な体調不良が起きないことを祈りつつ）朝5時に大阪の自宅を出発、朝8時に調査地に到着して15か所を調査、そして夕方6時には急いで帰宅して育児と家事。という過密スケジュールを何度もこなしていました。今から考えると我ながらよく頑張ったと思います。

そこまで大変な思いをして、何の調査していたのでしょうか。調査内容は「耕作放棄地への但馬牛の放牧による生物多様性保全効果」です。兵庫県の但馬地域では、年々増加する耕作放棄地の有効活用のために、但馬牛の放牧がおこなわれています。そうした活動が、どうやらチョウ類や花々の多様性の復活に貢献していることが明らかになりました。この論文は日本生態学会で論文賞を受賞することもでき、思い出深い研究の一つです。



放牧されている但馬牛



放牧地で観察できたベニシジミ